

はなぶんす

特定非営利活動法人
沖縄伝承話資料センターだより
2006年4月25日発行

早いもので、年が明けてもう四カ月が過ぎようとしています。会員のみなさまいかがお過ごしでしょうか。まずは、悲しいお知らせからです。すでに新聞等で知っていると思いますが、当センターの理事長である遠藤庄治が、三月二〇日永眠しました。七二歳です。茶毘は福島で、告別式は二六日に滋賀（守山葬祭）で行われました。センターからも数名が参加し、別れを告げました。しかし、遠藤先生が深く深く関わった沖縄では、会員をはじめ、多くの仲間から「ぜひ沖縄でお別れ会を！」という声があり、左記のとおり「お別れ会」を開催することになりました。理事長・遠藤庄治の意志、そして、センターとしてやるべきことを今一度確認するためにも、きちんとした「お別れ会」を開催したいと思います。

「遠藤庄治先生のお別れ会」

日時・平成十八年八月二十九日（火）

午後三時

場所・沖縄国際大学（七号館二〇二）

総会は、五月十三日（土）午後二時
沖縄県総合福祉センター
（那覇市石嶺）

特定非営利活動法人（NPO法人）
沖縄伝承話資料センターの誕生日は、
一月一六日です！

NPO法人として正式に認証された日は、平成十八年一月一六日です。その日がセンターの誕生日となります。「い・む・かしの日」と、語呂合わせも良く、「昔ばなしの日」として提唱できないものでしょうか！

NPO法人沖縄伝承話資料センター

設立記念講演会を開催！

平成十八年二月一〇日（金）、午後七時、読谷村文化センター中ホールで開催しました。講師は、小澤俊夫氏。「昔ばなしとは何か」をテーマにして、沖縄伝承話資料センターの役割や展望を語っていただき、「一地域で一団体が集めた話数としては、世界記録です」と、会員と参加者（一四八名）を励ましていただきました。



川恒さんの昔ばなし

じゅんじゅんの聞いた！



「民話の部屋」は、そもそも「名護市生涯学習振興大会」の中で、「山本川恒さんの語りを聞きたい！」ということ、なご民話の会の宮城孝子さんと名護市教育委員会文化財係を中心に実施してきたもの。今年、NPO法人沖縄伝承話資料センターの設立を機会に共催することになりました。

平成十八年二月十一日（土）、名護市市民会館中ホールで、名護中央公民館との共催で、中央公民館まつりの一環として行われました。

山本川恒さん（九七歳）の語りを中心に、紙芝居や伝承玩具づくりも・・・

玩具づくりがたくさん親子が参加。初め母親の背中にしがみついていた子どもたちが、風車を仕上げるなり、すぐに飛び出し会場中を走り回っていた風景が

印象的でした。それでも、川恒さんの語りのおかげは、真剣に目と耳を傾けていました。生の語りはすごい！

伝え話は、地域の宝です！

名護市屋部地区で、
伝説遺跡調査を実施！

平成十八年二月二五日（土）と二六日（日）、名護市の宇茂佐、屋部、旭川、中山、山入端、安和、勝山で伝説遺跡調査を実施しました。

伝説遺跡調査とは、地域にひっそり残る祠や、井戸、樹木、洞穴、岩などにまつわる「はなし」を拾い、その場所を確認し記録していく調査です。ですから、地域の方々の協力なしには実現できません。屋部地区の各字で区長さんや諸先輩方にご協力いただき、約九十箇所の伝説遺跡を確認することができました。資料整理次第、お礼と報告にお伺いします。調査に参加いただいた学生のみなさまもご苦労さんでした。今後ともよろしくお願ひします。

FMたまん（糸満市）

好評で継続決定！

毎月第二・四土曜日 昼十二時三〇分

昔ばなしやセンターの動きを紹介して
ます。